

「夏休み児童生徒の作品」

～学習成果・体験活動発表②～

校長 森 勝義

高校2年 山田 琴子

読書感想文 「空き缶を読んで」

空き缶を読んでわかった事は昔起こった事件は今でも影響があります。五人は原爆を生き抜いたけど、ただそれだけと思っている。

でも「生きている」ってその事がすごいと思います。

五人の言っている事は「只々毎日起きて生きるのがこれだけか」と言っているけれど、私はこんな大変な事件の後、生き続けれるのが印象的で自分の夢のことができなくても生き続けるのが一番すごいです。お話の中で弁論大会の話も出てきます。

「女の人はずただ赤ちゃん産んで料理するだけではない」「子供がいなくても結婚しなくても全然それでもいい」「それは女の人の仕事ではありません。」「女の人はずただ生きたいし、自分なりに夢やゴールもあります。」という内容もおもしろいと思いました。

「きぬ子の背中に入っているガラス片」は原爆の事件から逃れない思い出を伝えようとしてると思います。きぬ子の中に入り込んだガラス片。傷は残っています。長い時間経ってもきぬ子の背中はガラスのせいでコリコリで傷がついています。

私は「生きてきたいだけ」というこの言葉を読んだ時にこの原爆に辛い思いをした方は強いと思いました。これが全然なくなっても生きていけるのが感動的です。

「夏休みの出来事」

6年2組 小森 都宥子

私は夏休みに、カナダのバンフ国立公園に行きました。カヌーに乗ったり、釣りをしたけれど、一番印象に残ったのは、「レイクアグネスティーハウス」です。有名なレイクルーズ湖から1時間山を登った先にあります。山道は想定よりも険しく、着いた頃にはもうへとへとになっていました。私は父に何回も「もう半分進んだ？」と尋ねました。カフェーは、アグネス湖のほりにありました。まだ開店したばかりでしたが、行列が出来ていました。私たちの番になり、中に入ると薄暗くてびっくりしました。なんと、電気が通っていないそうです。私はサンドイッチ（スープ付）を頼みました。最初私は「スープ？ サンドイッチだけでもいいんだけどな」と思っていたのですが、食べてみると美味しかったです。ここは、雰囲気があっておススメなので、皆も機会があったら行って見てください。

「夏休みの出来事」

6年2組 伊東 咲姫

今年の夏休みは家族で、フロリダのビーチハウスに行きました。フロリダには3家族で集まりました。私のおじいさん、おばあさんと従妹。ハウスは青色で目の前はプールがあります。ゴルフカートで移動します。

一番楽しかったのは、花火を見に行ったことです。家を出て、なかなか場所が見つからず、ゴルフ場の中に入りました。そこは最高の場所でした。池の前で、池に花火が映ってとてもきれいでした。花火はクリスマスの色や、青白赤のアメリカの旗の色でした。ゴルフ場にはほかに数台しかゴルフカートがなくて、花火の会場にとっても近く、最高の場所でした。花火が始まるのを待っている間は、ロケットをシュリングショットで打って、空高く飛ばして遊びながら待ちました。

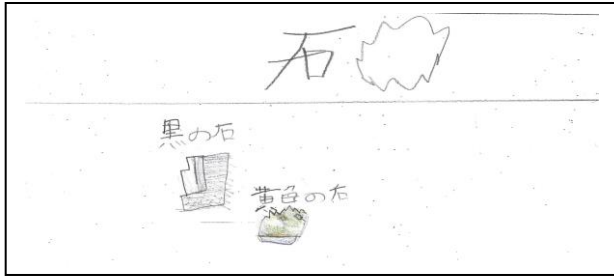
「夏休みの出来事」

6年2組 松島 想果

私はこの夏に日本に一時帰国しました。その時に友達と一緒にディズニーランドに行きました。「ファンタジースプリンセス」という新しいエリアが出来たディズニーシーは、混むと思ったので、私たちはディズニーランドに行くことにしました。とても楽しかったです。

私たちはジェットコースターが大好きなので、ジェットコースターにたくさん乗りました。「次は何に乗る？」など相談をして乗っていました。

ディズニーランドでは、とてもポップコーンのおいがしていました。ディズニーランドのどこを歩いてもポップコーンの匂いがして、今すぐ食べたくなるほどでした。また友達と一緒に歩きたいと思いました。



かんさつ名人になろう

小学2年2組 夏目ことは

石のかんさつをしました。ひとつは黄色で、もうひとつは黒です。黄色の石は、ともだちからもらいました。黒の石は、うちのにわでひろいました。黄色の方は、1cmぐらいでした。黒も1cmでした。黄色の石は、ざらざらしています。黒の石は、つるつるとざらざらしていました。黒色の石のおいは、にわでひろったので、にわのおいです。そして、中にどちらもしいしょうが入っています。そしてどちらもわたしのたからです。黒の石と黄色の石は、どちらもきれいです。

◎8月17日

<投稿作品>

- | | | |
|--------|-------|-----------------------|
| 小学6年1組 | 赤木 七海 | 「大暑の日 晴れが続いて 暑くなる」 |
| 小学6年1組 | 加藤 玲那 | 「立夏かな 花火大会 はじまった」 |
| 中学2年1組 | 野田あかり | 「花開く パラパラと舞う 天の青」 |
| 小学6年1組 | 岩谷 颯樹 | 「れいぞうこ すいかかメロン えらべない」 |
| 小学6年1組 | ロス 実夏 | 「大暑かな おいしいアイス とけちゃった」 |
| | 職員 | 「ありがとう ベル当番の お母さん」 |
| | 職員 | 「いるかなあ 校長室を のぞく顔」 |



ヒゲ森の言葉の森・探検

ど
ほう
が
かい

土崩瓦解

物事が根底から崩れてしまうこと。

「土崩」とは盛り土が崩れること。「瓦解」は瓦が砕けること。

労働とは、

美德の源泉である。

ヨハン・ゴットフリート・ヘルダー

1744年〜1803年 ドイツの哲学者
一生懸命に働くことから、勤勉、思いやり、忍耐といった、美しい心のありかたが生れてくるものだ。